

# Jネットに感謝しています

京都府相楽郡山崎町

早川征男（南本町二丁目出身）

私はJネットに入れていただいて先ず感じたことは、上越の方々は故郷を大変大切にされているということです。入会のきっかけになった高校のクラスメイトが企画する東京での同期会は新橋の「とき」や渋谷の「妙高」で開いてくれます。何れの店も上越出身の方の経営で故郷の味を味わせてくださいます。出席者の故郷の味に舌鼓を打つ様子から彼らの郷土愛を再認識させられます。

以来Jネットサロンにも時々顔を出します。世話役の方は大変だとは思いますが故郷の味を取り寄せてくださって、懐かしい味を思い出させてくださいます。

私はJネットの通信員をさせていただいている事から、ときどき原稿依頼を受けます。今までに昨年の一月「故郷は味で守られている」と九月「観蓮会、今年の四月「関西の一寸遅い桜」と七月「と

ころ変れば」の四回原稿をお送りして機関誌に載せていただきました。機関誌が発行されると懐かしい同窓生からお手紙を頂くことがあります。中学校や高校の同窓生ですから私にとつては、四十数年ぶりの便りです。高校は卒業生名簿が発行されていますから今の私の住所がわかりますが、中学校では卒業生名簿が発行されていませんから恐らくJネット会員名簿で今の私の住所を知ってくださいたのでしよう。クラスメイトだけではなく世代の違う方との新しいコミュニケーションも始まります。

私は味による故郷の思い出、Jネット通信による古い知己とのコミュニケーション、新しいお知り合いのいることにJネットの意義を感じ感謝しています。



早川さん(前列右から3人目)を囲んで